



子育ての ココが聞きたい！

VOL. 4



子どもの思いと
見守る大人
親子でわくわくアドベンチャー

和紙フェス 2023in 東秩父村の中で、子育てイベント「親子で“わくわく”アドベンチャー」が行われ、参加された親子には「見守り」をテーマにした保育体験をしていただきました。

保育士さんの補助のもと「見守り」を意識しながら、親子で自然あそびを楽しみ、和紙の里の探検と紙漉きを体験したパパママからは、「見守り意識してみたら、普段口を出しすぎていることに気づいた」「見守ることで、子どもたちが生き生きと自信をもって活動できていた」など、実践したからこそわかる感想をいただきました。

子育てをしていると、大人の思い通りにならないことばかりで、手や口を出しすぎてしまうことがあります。子どもの着替中「それじゃシャツが後ろになっちゃうよ！」など口を出し、気づけばほとんど親が着させた、なんてこともあるのではないのでしょうか？ やってあげた方が早い、失敗しないようになどは“大人の願い”の表れだと思います。しかし、この“大人の願い”が“子どもの思い”を邪魔してしまうことがないようにしたいのです。

「自分で出来る！」と胸を張って着替え始めたとしても、上手に着られることもあれば、そんな着方じゃ恥ずかしいぞという姿になることもあります。ですが、子どもは実体験をもとに成長していきます。上手にできれば「自分の力でできた！」うまくできなければ「悔しい、どうしてうまくできないんだろう？」と、成功や失敗を通して得られる思いが子どもを成長させてくれるのです。

子どもの挑戦の途中で大人が手出ししてしまうと、子どもの心に湧きあがった「やるぞ！」の気持ちが引っ込んでしまい、その後待っている大切な成功や失敗の機会を失ってしまいます。大人は「あっ！」と思っても少し我慢して、子どもの挑戦を見守ってみましょう。すると子どもは自信満々に、できた姿を見せられます。少し変でも「それじゃ恥ずかしいよ」なんて言わず、まずは「よく頑張ったね！」と挑戦した子どもの思いを認めてあげましょう。失敗の体験が子どもにとってただ悔しいだけで終わらず、成功につながる“気付き”の機会となるように、見守っていきましょう。

保育士 保育コンサルジュ 太幡 英輝

子育て支援センターだより（1月）

子育て支援センターは就学前のお子さんと保護者の方が気軽に参加できるサロンです。

1歳未満のお子さんも大歓迎です！

- 10日（水）のびのび広場 お正月あそび
- 17日（水）あそびの教室 ペープサート
- 24日（水）のびのび広場 おはなし会
- 31日（水）のびのび広場 鬼のお面

家でできるお子さんの発育を促す楽しい遊び方や、日ごろの生活内容相談など、子育て支援センター職員が親身になってお話しします。お気軽にお電話ください！

※時間は全日午前10時～11時30分です。

※利用時間は午前9時～午後4時です。

問合せ 子育て支援センター ☎82-0601